

平成 26 年 3 月号

メンバー、ボランティア、学生
みんな仲間!

けやきと仲間 めーる



こころの病と闘っている人々と千葉大学生や周囲地域との協働の会 地域活動支援センター「けやきと仲間」

平成 26 年 3 月 1 日(第 107 号)

主催 千葉市 千家連

第12回 スプリングフェスティバル



2014. 3. 2(日)
11:00~16:00
場所 ハーモニープラザ

精神障がいをもつ人、家族、市民の皆さんで
手作りするフェスタです。

熱気あふれるステージやバザー
アート展示を見に来ませんか?

豪華景品
があたる!?
抽選会も
お楽しみに!!

問い合わせ先 NPO たけの子工房 TEL043-292-1239

千葉市障害者自立支援課 TEL043-245-5211

記録的大雪の合間、大学畑の園芸(雪かき)作業の報告です。



皆様へ 2月17日(月)の園芸作業の報告です。

- 天候：穏やかな晴れ
- 作業内容：畑全体に、先週末に積もった雪が残って
いたので、雪かきを行いました。

馬田さんから

ハロー。
今日も作業されたのですか・・・。
お日様は嬉しかったけれど風が冷たかったですね。
雪だるまは作りませんでした？

流尾さんから

雪かきで玉ねぎの苗やサニーレタスは傷まなかったですか？

苗のある場所は雪かきをしないでいると葉が傷つかなくて良かったのですが。心配です。

武ノ上さんから

ご指摘ありがとうございました。

雪かきは、通路の、特に雪がたくさん積もっていて、溶けると水たまりになってしまいそうな箇所のみ行いました。

畝など苗があるところは、それほど雪が厚く積もって
いなかったの、みんなで相談して「これくらいなら、雪が溶ければちょうどいいかな」と、そのままに
しましたので苗は大丈夫だと思います。

ご心配いただき恐縮です。

今後もよろしく願いいたします。

流尾さんから

返信ありがとうございます。畑に出られなくても作物の事は気になります。無事でよかったです。

春に元気になったら畑の作物と会いたいですね。

2月22日に退院しました！

3カ月間の閉鎖病棟…と言っても本人が希望すれば外出可能な任意入院でしたが。

一昨年と同じ病院に4カ月入院しました。食事の味が合わないのが唯一の不満だったので、今回も食事の事だけが心配でした。ところがシェフが代わってとてもおいしくなってさいさきがよくなる予感が…？

でも現実には厳しかった。1カ月過ぎたころ、唯一の話し相手が退院してしまったときの虚無感！けやきの仲間が恋しかった！ルール違反(早朝の喫煙など)が見つかった時、看護師さんに「信じてたのに…」と言われて落ち込みました。たった一人の家族の妹をまた落胆させてしまった。そんな時、けやきの仲間たちがハガキをくれたり、面会に来てくれたり。面会室で食べたショートケーキ、恵方巻き！うまかった！

これから遅れてしまった社労士の勉強にがんばりんちょです。

前回の入院でこりたはずなのに、またやってしまった自己判断の薬の量の調節、本当に油断大敵です。

24日、久しぶりにけやきに来ました。髪も切って、新たな気持ちで臨めると思います。

(K・K)

母の七回忌に思うこと

今年2月、母の七回忌の法要がありました。例年にないほどの記録的な積雪も溶けてその日は天候が良く晴天でした。

10代後半で心の病が発症しました。当時の僕が親や周りの人達にどれほど迷惑をかけたかとか、寿命を縮ませるような無茶苦茶なことをしたかなど、今では振り返ることができるようになりましたが、当時は、自分では認めない、直視しようとしないう、そんな日々でした。

精神科に通院するようになると同時に、ほとんど家に閉じこもった僕に、母は一日三度の食事を作ってくれていました。母は病気になった僕に対して、親子の口喧嘩等があったものの、〈怠けていないで…〉とか〈そんなの気持ちの持ちようでも…〉とか精神論的・叱咤激励的な言動は、ほとんど皆無でした。そもそも、母親自体がケ・セラ・セなふるまいでした。でもやはり僕の事はとても心配だったと思います。それを僕に感じさせないようにしていただけかも。親が何一つか、精神的に強かったのも、親に心配してもらいたかったとか、構って欲しかったとか、そういう甘え的思いが当時の僕にも自覚の念があったことも覚えています。

父が定年後、会社を起こして、でも2～3年で経営難に陥り、我が家も生計が苦しくなり、父は単身で暮らし、母は僕とで二人で生活するようになり、なんじゃかんじゃありつつ、西千葉に移り住みました。その後、けやきと仲間の存在を知って、今に至る…です。

母が生きている時に、親が先に亡くなったらどうしようとか、母が亡くなったら、その後自分も後を追って死んじゃえばいいんだとか、親がいない世界なんて考えられなかったです。だけど、母は不意な要因で他界してしまいました。周りの人達は僕がショックで不安定に陥ることを心配していました。でも、僕自身は、母の急逝という現実に対して、前を向こうと、僕なりに自分自身を奮い立たそうとしていました。そういう意味では、周囲が一番驚いたかもしれません。

母の最期の頃、ベッドに横たわっている母の足を握りました。握った後、そのまま両手で母の足にすがりつき、声をあげて泣いてしまいました。「お母さんの足がこんなに硬く冷たくなってる。僕が、発症して、自暴自棄でいた頃、引きこもっていた時も、当たり前のように三度の食事を用意してくれていたお母さんの足が、こんなに弱く冷たくなってる。こんなに苦労かけていたなんて」。

母を思い出す度に、母の生き方を学ばせてもらっています。七回忌、母の墓前で、澄み切った青空を見上げながら思いました。

《育ててくれてありがとう》

(H・Y)

あの本田ともみさんが結婚されます。

3月21日に日本キリスト教会改革派横浜教会
(〒253-0043 横浜市磯子区氷取沢 94) にて式をあげる予定です。
「皆さんによろしく」とのことです。
今後さらに理事やボランティアとして、
「けやきと仲間」のことも支えて下さることでしょう。
本当におめでとうございます。



ひいなちゃん

けさきと仲間 No9



今月の川柳

川柳

吹雪でも父の長グツはずかしい

雪だからチヨコ渡せないホントかな

今年また母の命日チヨコ食べる

うらめしや退院延期雪被害

寒くてもホカロン使う年じゃない

笑うなよオレには長いひと駅が

年金でみゆきの眠る京都へと